




新潟県の経済情勢報告

令和 8 年 1 月 29 日
財務省関東財務局
新潟財務事務所

お問い合わせ先
関東財務局新潟財務事務所財務課
電話番号 025-281-7503

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」









項 目	前回（7 年 10 月判断）	今回（8 年 1 月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）8 年 1 月判断は、前回 7 年 10 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、改善しつつある。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 10 月判断）	今回（8 年 1 月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	
雇用情勢	改善しつつある	改善しつつある	
設備投資	7 年度は増加見込みとなっている	7 年度は増加見込みとなっている	
企業収益	7 年度は減益見込みとなっている	7 年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「下降」超幅が縮小している	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額、乗用車新車登録届出台数は前年を上回っている。宿泊や飲食サービスは、持ち直している。このように個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- コメや精肉、惣菜、日配品、加工食品などがよく売れており、物価上昇の影響もあり、売上げは前年を上回っているが、値上げ基調のなか、価格への感度は高まっており、割安なPB商品に流れる動きがみられる。(百貨店・スーパー)
- 既存OSのサポート終了に加えて、メモリの供給不足による価格上昇を見越した特需があり、パソコンの売上げが前年を上回っているほか、スマートフォンやゲーム関連の販売が引き続き好調。(家電量販店)
- インフルエンザ感染者数の増加に伴いマスクや体温計の販売数が増加している。販売価格の上昇により、ついで買いの減少や低価格帯の商品へのシフトがみられる。(ドラッグストア)
- グリーン部門の販売が好調である一方、11-12月の気温が高かったこともあり、ストーブや毛布など季節商品の動きは鈍い。(ホームセンター)
- 新型車の販売が好調であるほか、納車期間の改善により受注残の解消が進んでいることから、売上げが大きく伸びた。また、米価上昇で収入が増えた農家を中心に買換え需要の増加がみられる。(自動車販売)
- 12月中旬頃まで毎週のようにイベントが開催されたため、宿泊客数が伸長した。また、年末年始の予約は、概ね前年並みであった。(宿泊)
- メニューの価格改定を行った結果、一部店舗で客数の減少がみられたものの、客単価の上昇により、売上げが増加した。(飲食サービス)

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、化学、電気・情報通信機械は低下しているものの、食料品、汎用・生産用・業務用機械、金属製品、輸送機械は上昇しており、全体としては、横ばいの状況にある。

- 秋に価格改定を行ったが、クリスマスやお正月といったイベントのほか、期間限定商品等の販売効果もあり、生産量・出荷量ともに増加した。(食料品)
- 生成AIのデータセンター需要が世界的に拡大していることやスマートフォンのモデルチェンジ後の販売が好調であることに伴い、半導体関連製品の受注が増加していることから、生産量は前期比で好調を維持し、前年比では大きく増加している。(化学)
- 主力製品の需要が本格化する時期であることから、生産量が前期比で増加している。初期出荷は好調であったが、11-12月の気温が高かったため、生産にブレーキがかかっている。(金属製品)
- 冷蔵庫や洗濯機などの低価格帯から中価格帯の製品では、中国メーカーとの競争激化により売上げが減少しているほか、在庫調整を行ったこともあり、生産量が減少している。(電気機械)
- 米国向けの自動車部品が堅調に推移するなか、アセアン・インド向けの二輪自動車部品の需要が伸びていることから、生産量が増加している。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「改善しつつある」

新規求人数は減少しているものの、有効求人倍率は高水準で推移しており、雇用情勢は、改善しつつある。

- 全体的に従業員が不足しているが、特に調理スタッフなどの専門職が足りていない。採用をしようにも専門人材が市場に少なく、なかなか採用できない。売上げは減少しているが、雇用を守るために冬の賞与は前年と同額を支給した。(宿泊)
- 鍛造工や電気設計、機械設計等の技術者が慢性的に不足気味。即戦力の技術者は希少なことから、取り合いになっており、なかなか採用できない。高齢化が進み、今後ボトルネックになる可能性がある。(製造)

■ 設備投資 「7年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 7年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比57.1%の増加見込み、非製造業は同12.8%の減少見込みとなっており、全産業では同20.0%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「7年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 7年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業は前年比3.8%の減益見込み、非製造業は同2.9%の増益見込みとなっており、全産業では同0.0%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 景況判断BSIをみると、全規模では「下降」超幅が縮小している。先行きについては、全規模では「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、分譲住宅は前年を下回っているものの、持家、貸家は前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 公共工事請負金額をみると、国、県、市町村は前年を下回っている。

新潟県の経済情勢報告

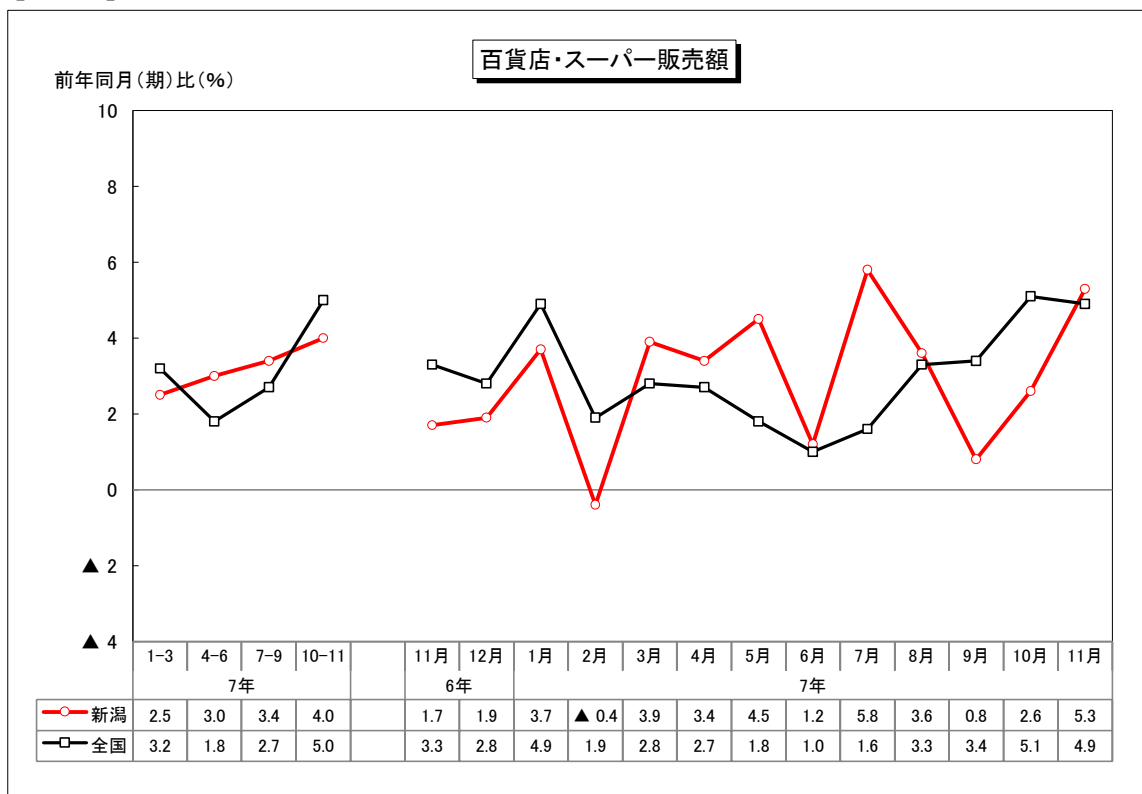
資 料 編

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 個人消費

物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している

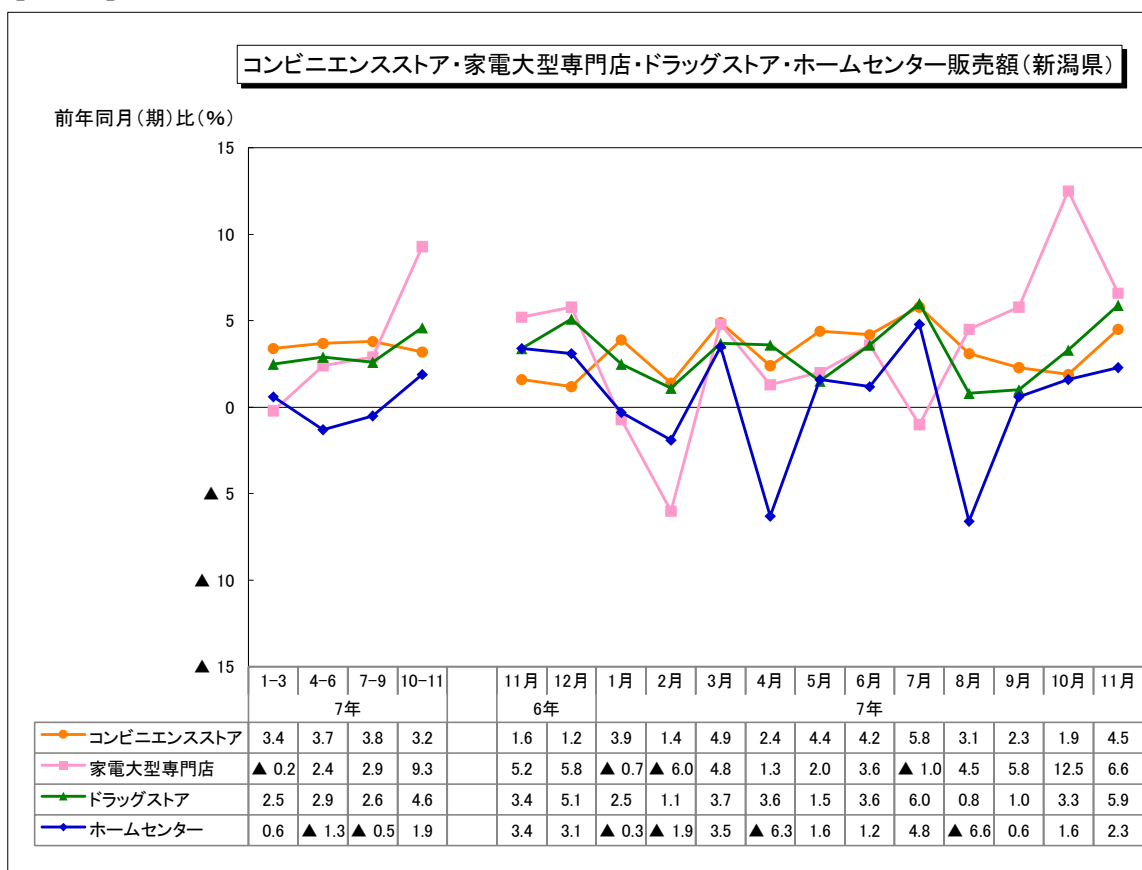
【グラフ1】



(注) 前年同月(期)比は全店ベース。

【経済産業省】

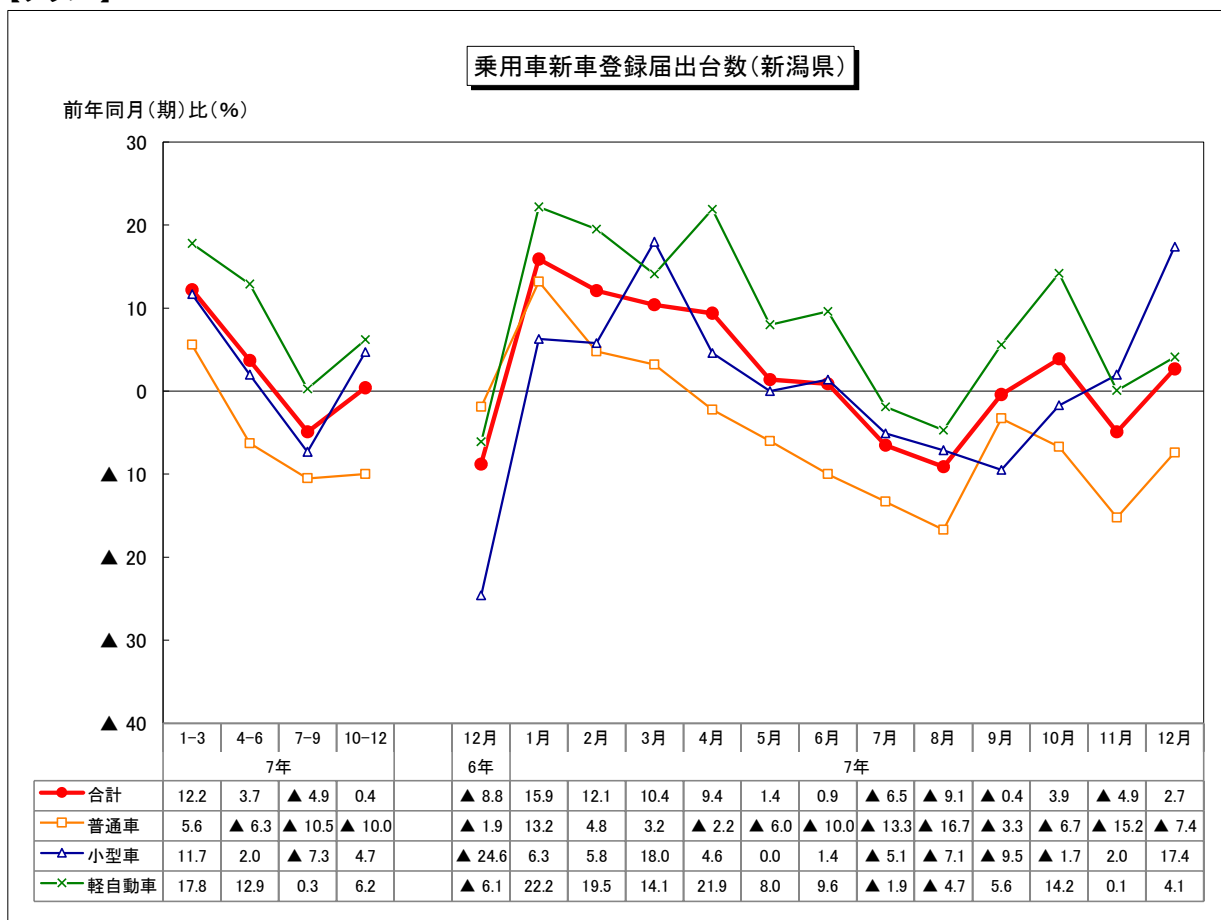
【グラフ2】



(注) 前年同月(期)比は全店ベース。

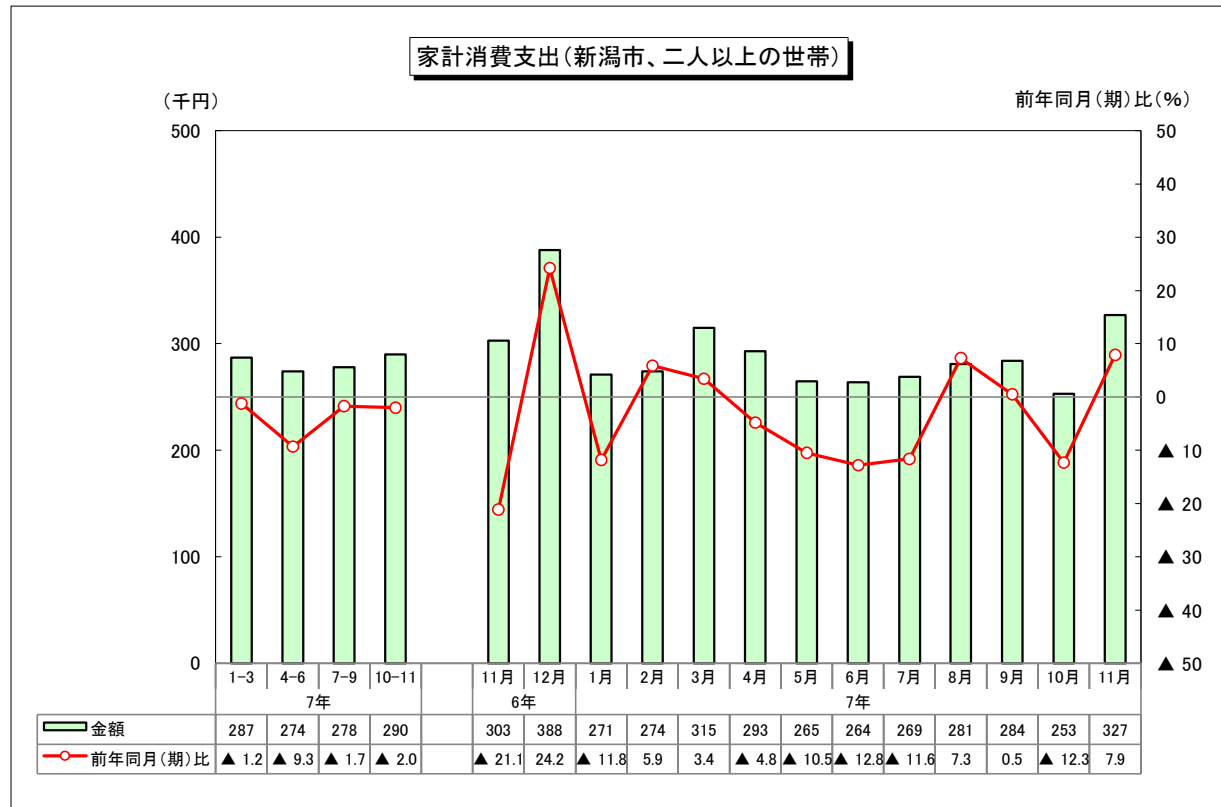
【経済産業省】

【グラフ3】



【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

【グラフ4】

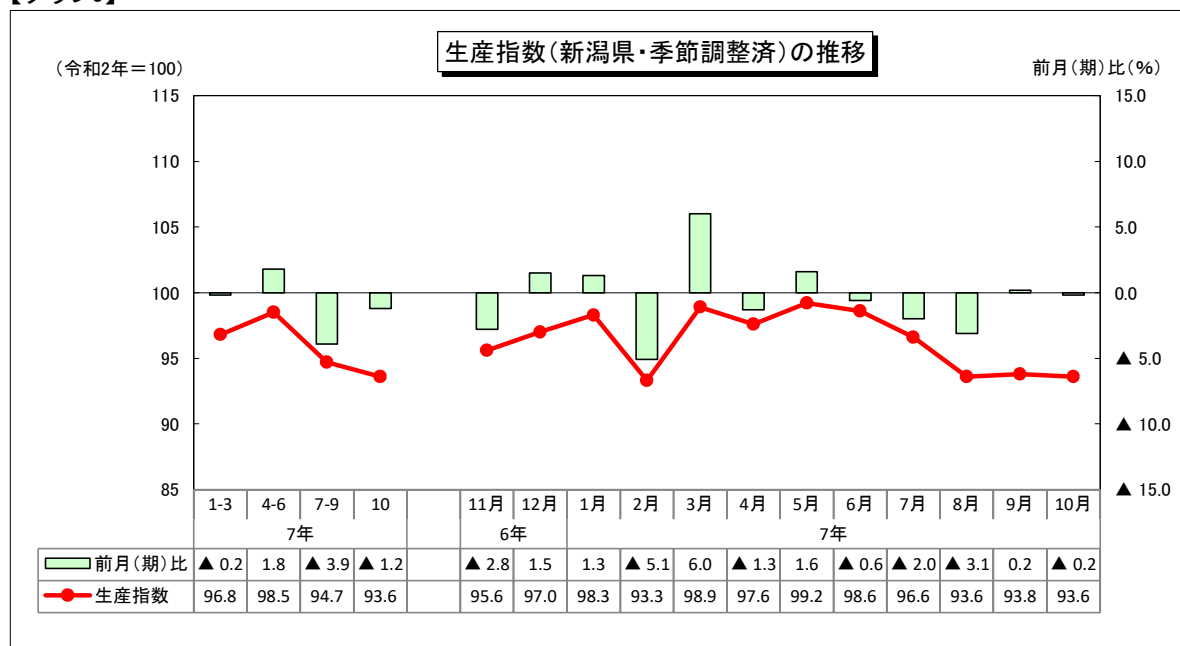


【総務省】

2. 生産活動

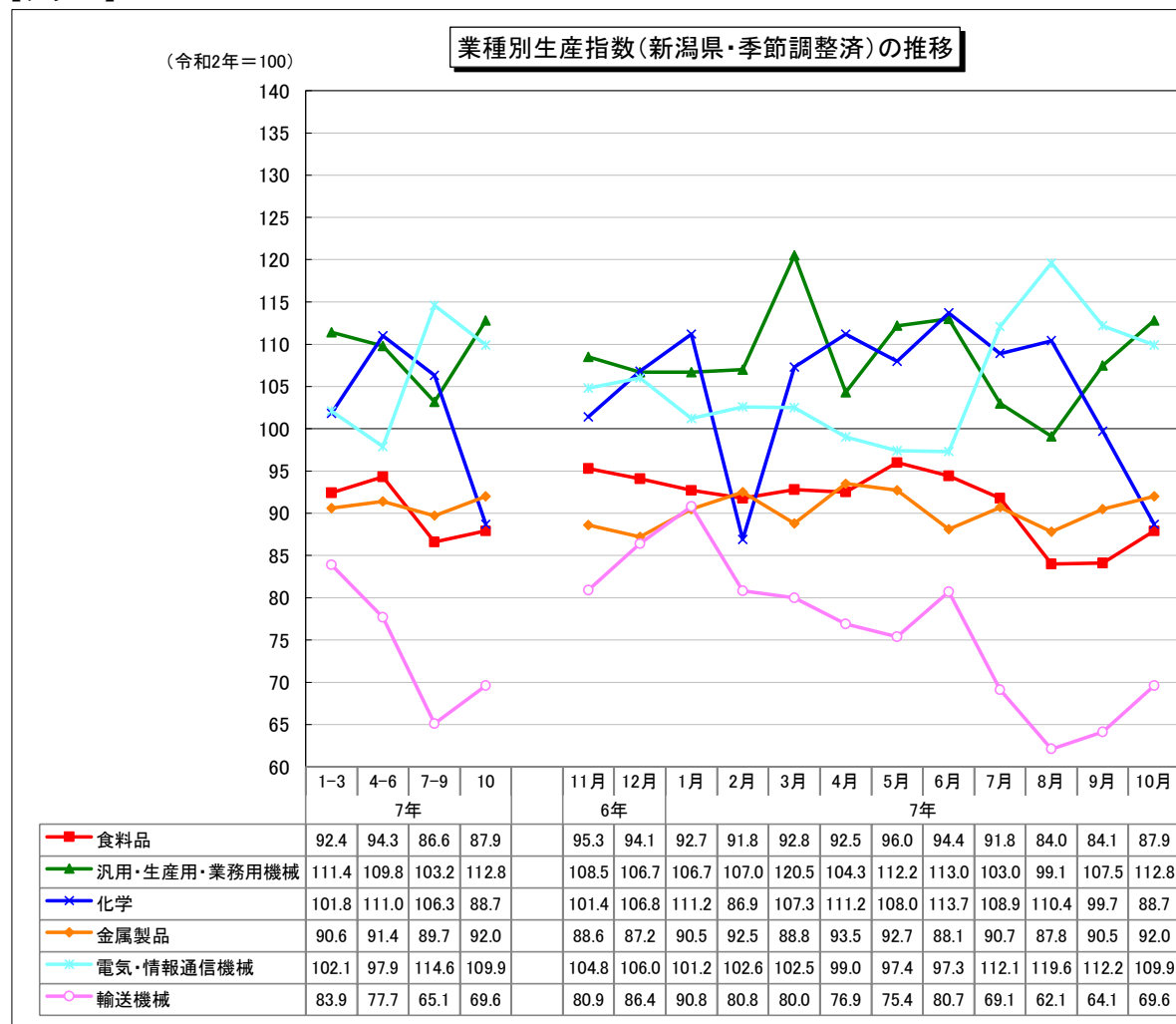
横ばいの状況にある

【グラフ5】



【新潟県】

【グラフ6】

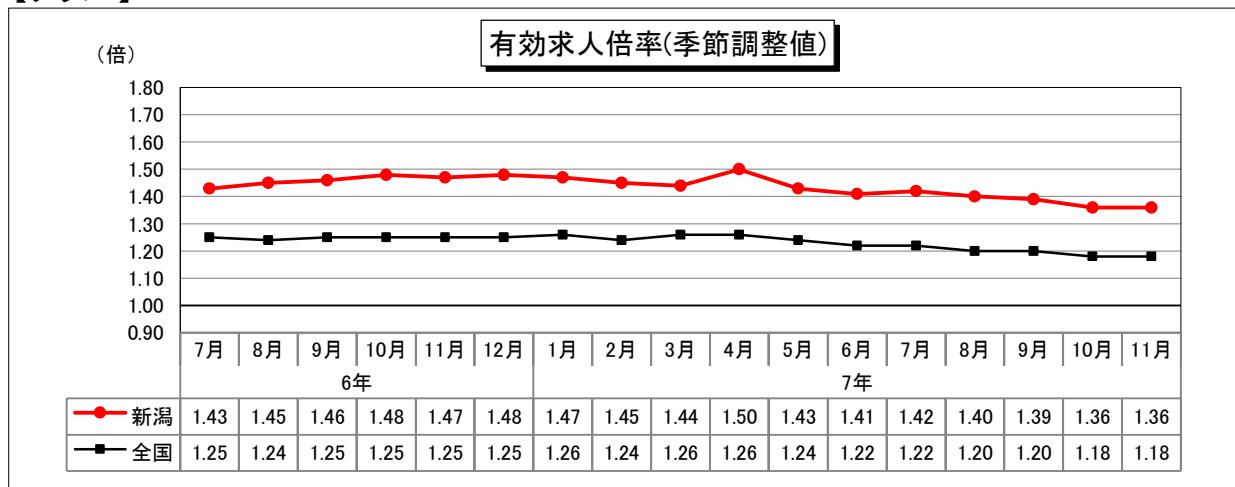


【新潟県】

3. 雇用情勢

改善しつつある

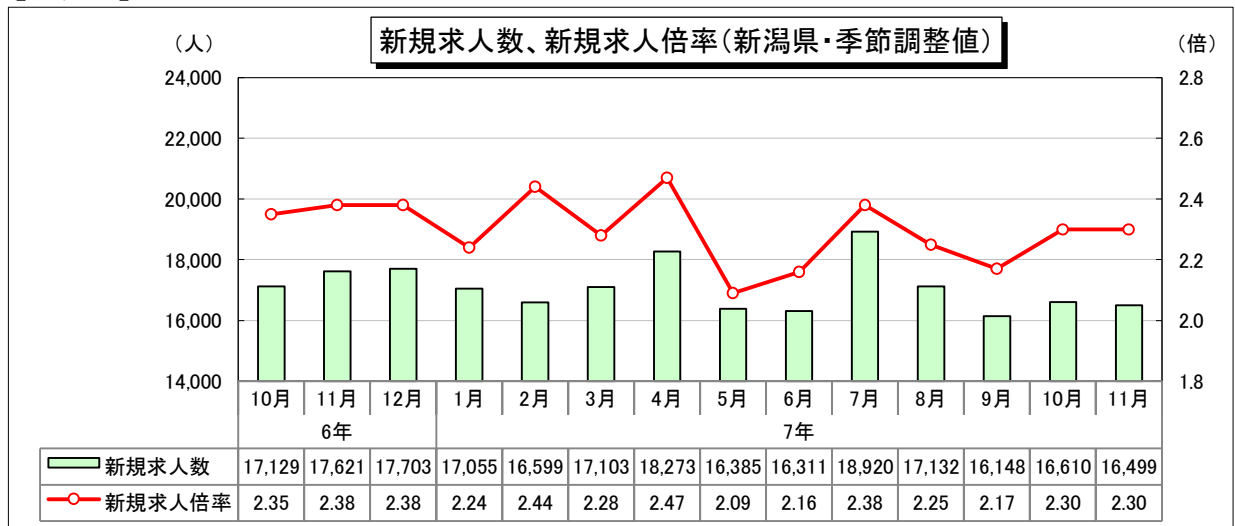
【グラフ7】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

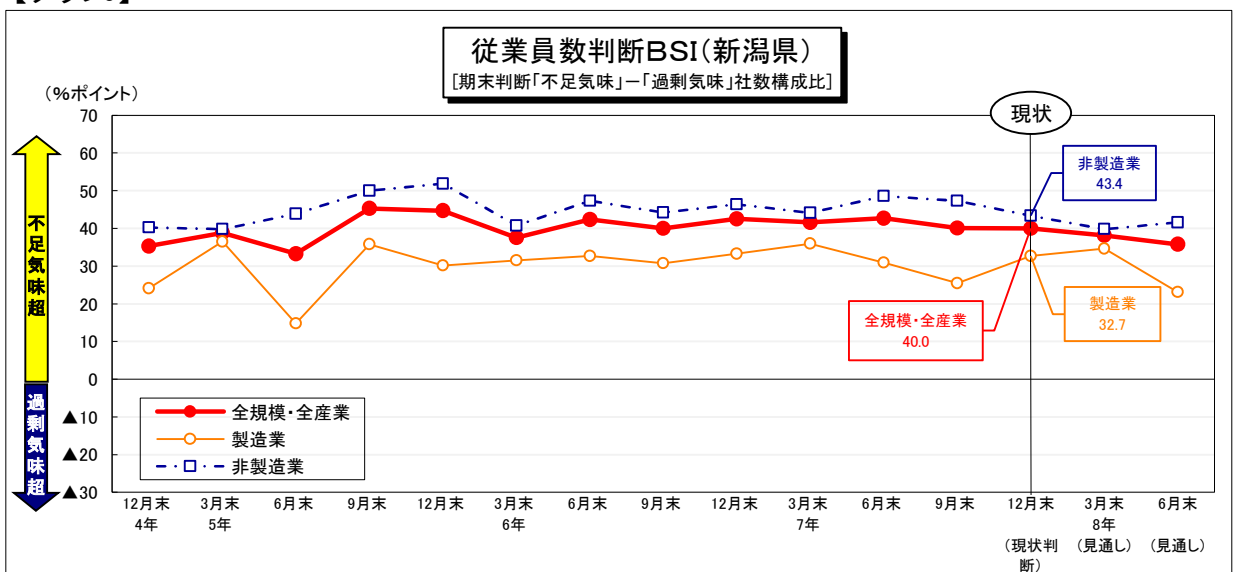
【グラフ8】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

【グラフ9】

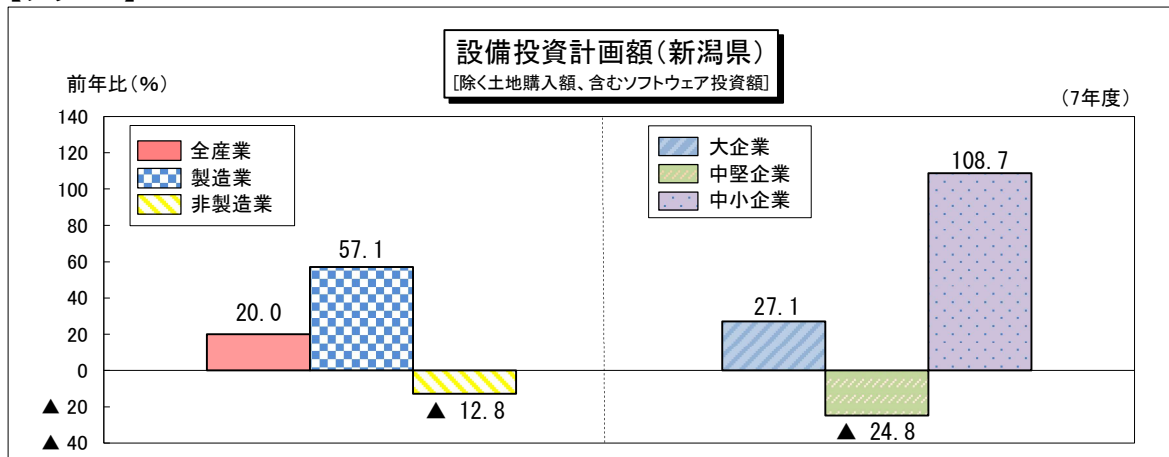


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

4. 設備投資

7年度は増加見込みとなっている

【グラフ10】

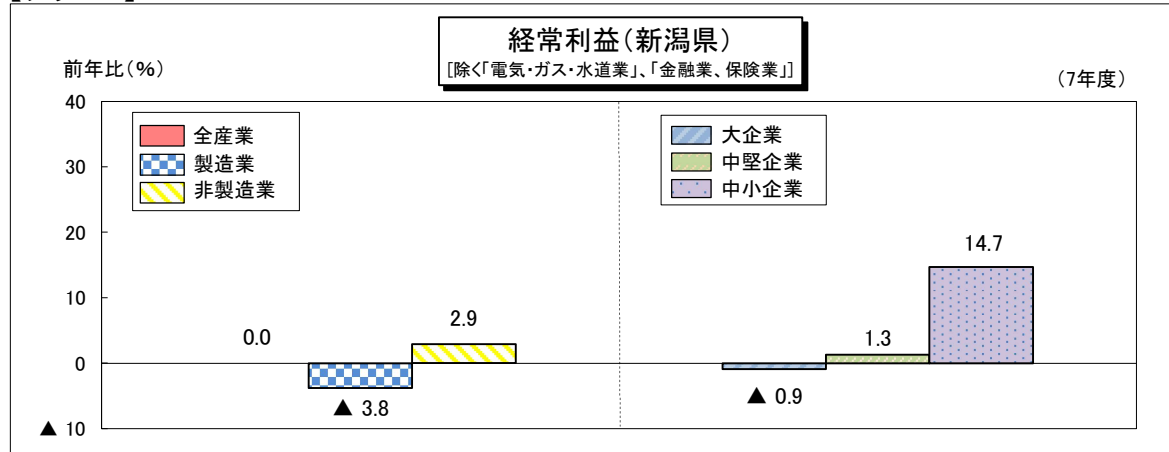


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

5. 企業収益

7年度は増益見込みとなっている

【グラフ11】

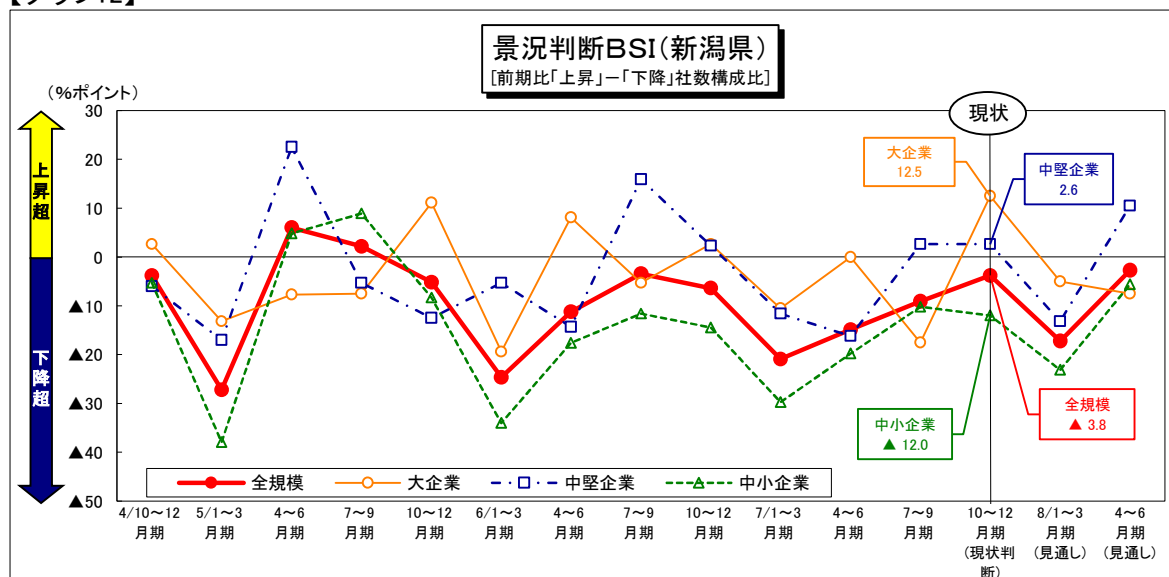


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

6. 企業の景況感

「下降」超幅が縮小している

【グラフ12】

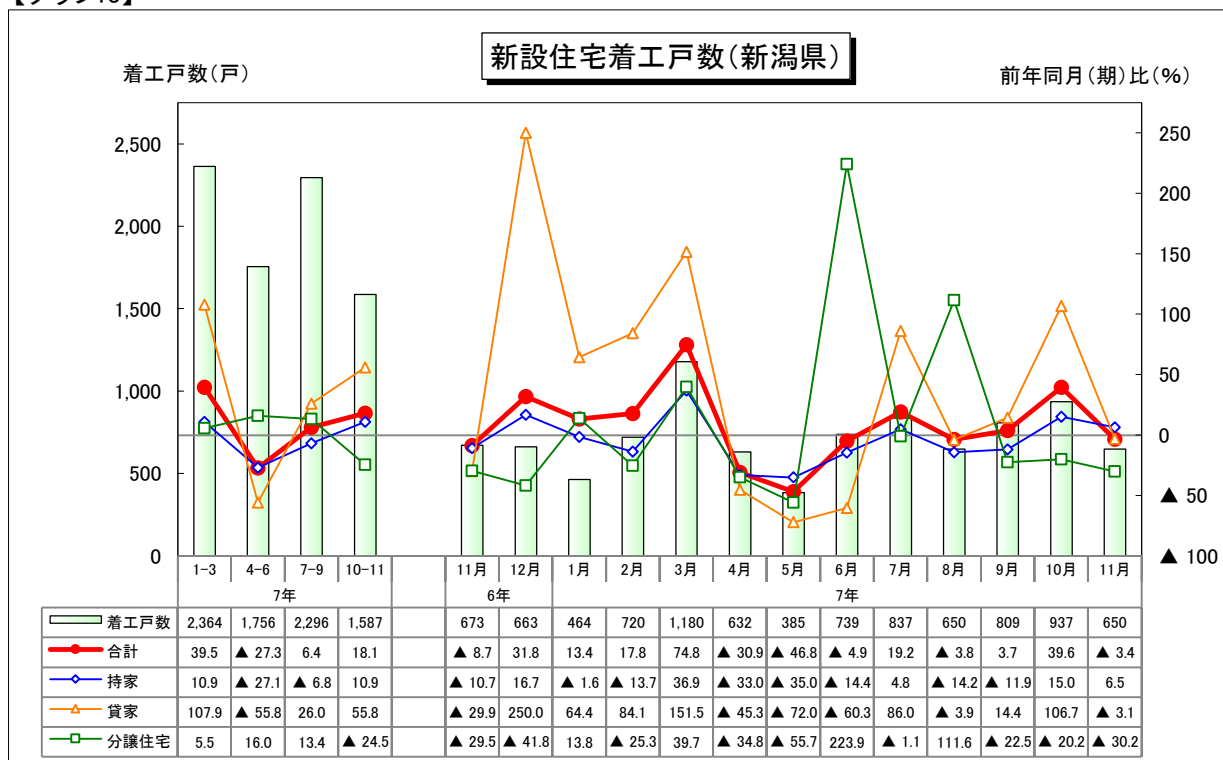


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

7. 住宅建設

前年を上回っている

【グラフ13】

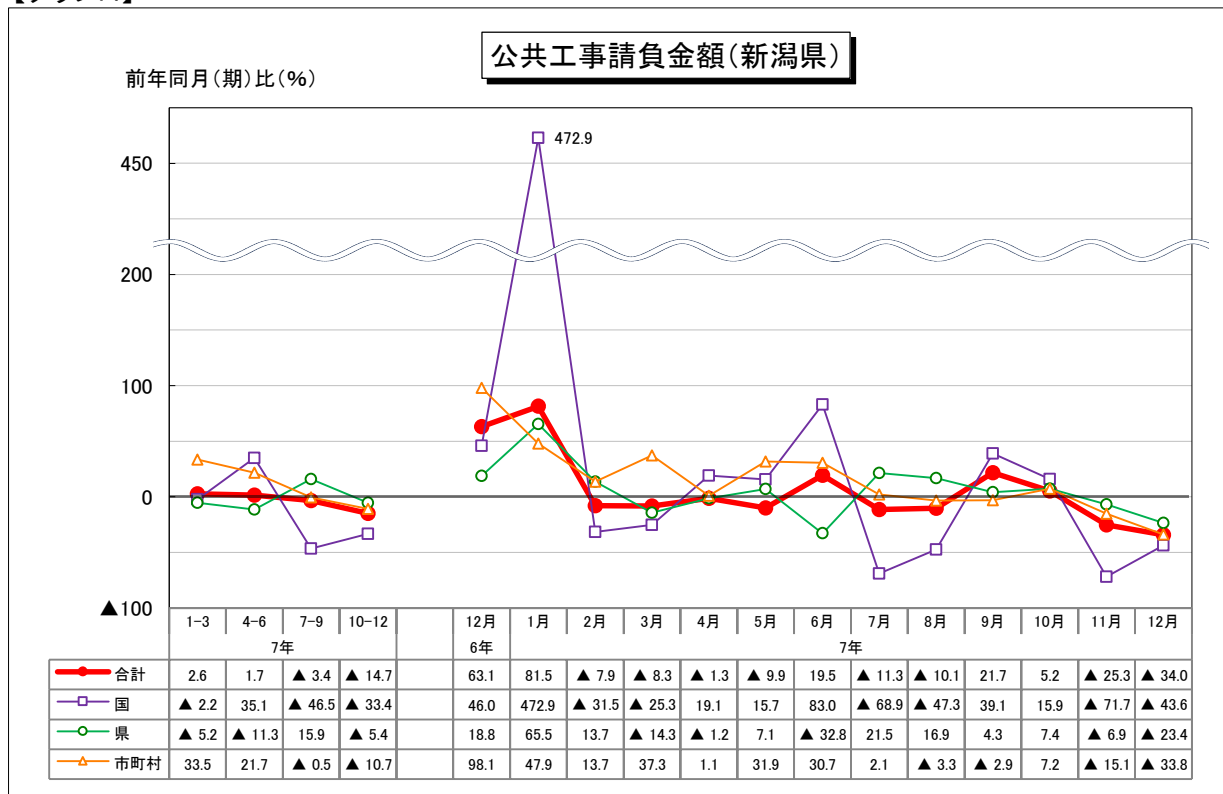


【国土交通省】

8. 公共事業

前年を下回っている

【グラフ14】

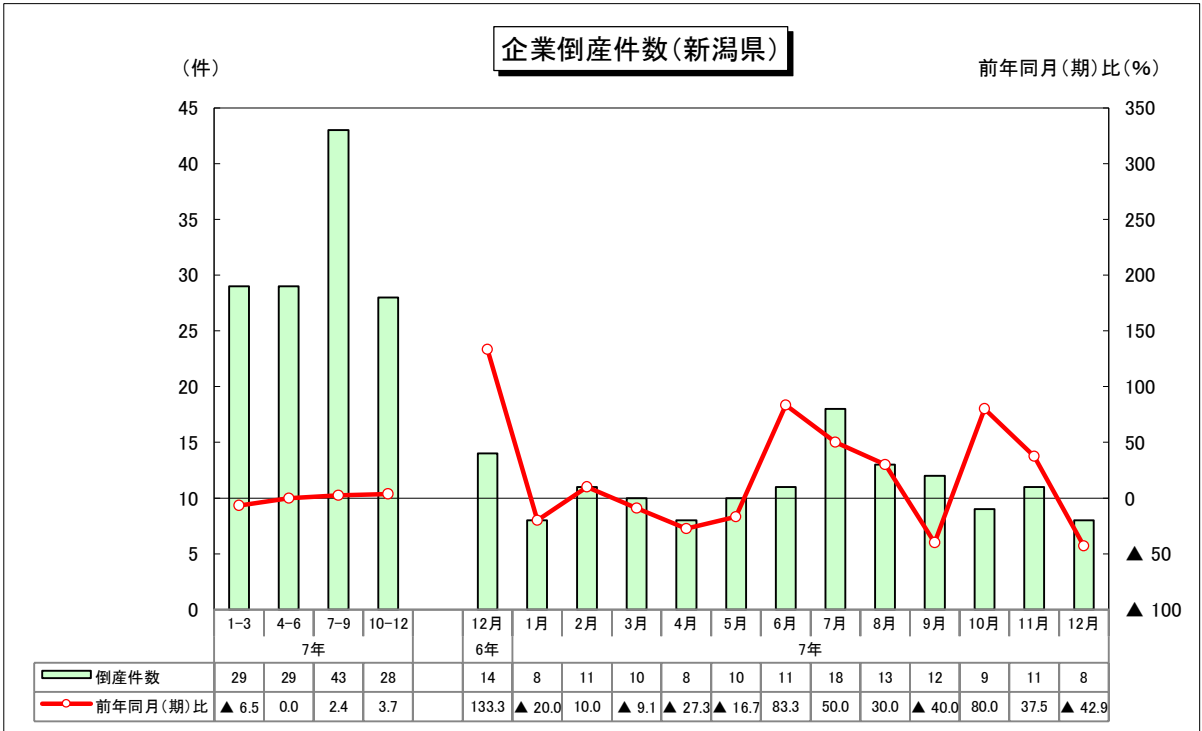


【北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱】

(参考) 企業倒産

倒産件数は前年を上回っている

【グラフ15】



【東京商エリサーチ】